

# 家庭菜園等で野菜や草花を栽培するみなさまへ

## 野菜のウイルス病まん延防止にご協力をお願いします！

熊本市の農業産出額は、政令指定都市で第3位、全国市町村で第8位と全国屈指の農業都市です。特に、すいか、メロン、きゅうり、トマト等の施設園芸が盛んで一大産地となっています。

しかしながら、熊本市内においてコナジラミ類（下左写真）が媒介するうり類の退緑黄化病・トマトの黄化葉巻病やミナミキイロアザミウマ（下右写真）が媒介するうり類の黄化えそ病等のウイルス病による被害が増加しています。今後、本市主要品目である野菜を安定的に生産するためには、**農家自身が引き続き防除対策を実施するだけでなく、地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠**です。



**タバココナジラミ**  
体長：0.8mm 前後  
体色：白色  
※成虫、幼虫ともに葉裏に生息



**ミナミキイロアザミウマ**  
体長：約 1.2mm  
体色：橙黄色  
※成虫、幼虫は葉の上、卵は葉の中、蛹は土中にあるため、防除は非常に困難

すいか、きゅうり、トマト、ミニトマト等を栽培している家庭や学校の菜園で、下写真のような症状が見られたらウイルス病と判断してください。そのまま放置すると、その菜園が**ウイルス病の強力な感染源**となり、ウイルスに感染した害虫が風によって市全体運ばれ、病気がまん延し大きな被害となる恐れがあります。（害虫は風に乗って数十キロ移動することができます）



### すいか退緑えそ病

はじめ葉脈に緑色を残した黄化葉となり、その後黄化葉の周辺又は葉脈間からえそを生じ、激しい場合は葉が枯死します。



### トマト黄化葉巻病

先端部の新葉が黄色に変色し、葉が巻くように萎縮し、成長が止まります。



### きゅうり黄化えそ病

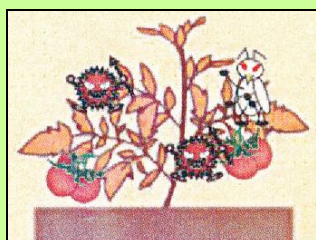
はじめ葉の葉脈が透けたようになり、その後黄化やえそ斑を生じ、最後は枯死します。（果実にはほとんど症状は見られません）

## 被害を防ぐためにやっていただきたいこと！

・家庭菜園で栽培されている場合は、上記の病気の発生がないかどうか十分確認してください。もし、上の写真のような病気の野菜があったら、次の方法で**確実に処理**してください。

- ① 果実が残っていてもすぐに**株ごと抜き取る**。
- ② **土の中に埋める**か、ビニル袋などに入れ、**燃えるゴミ**へ。

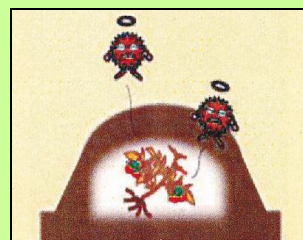
※ウイルスは作物全体に感染しているため、病気の部分だけ取り除いてもすぐに再発します。



1. 病気の発生・発見



2. 株ごと抜き取る



3. 土の中 or 密封して燃えるゴミへ